

必ずお読みください



**VECTORWORKS**<sup>®</sup>

A NEMETSCHek COMPANY

# セットアップガイド ネットワーク版

20  
19

**JAPANESE VERSION**

CREATED IN PARTNERSHIP WITH A&A CO., LTD.

v

# 目次

Vectorworks 2019 ネットワーク版の概要	3
Vectorworks 2019 ネットワーク版の仕組みについて	3
ライセンス管理ソフトウェアの機能	4
パッケージの内包物	4
セットアップから起動までの流れ	5
セットアップの前に	6
ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ	9
必要条件	9
ライセンス管理ソフトウェアのインストール	11
ライセンス管理ソフトウェアの起動確認	20
Vectorworks 2019 のセットアップ	24
Vectorworks 2019 のインストール	24
Vectorworks 2019 の起動	27
アンインストールについて	31
Vectorworks ソフトウェアとその他のファイル	31
ライセンス管理ソフトウェア	31
補足情報	33
Vectorworks フォルダのアクセス権について	33
ドングル (ハードウェアプロテクトキー) お取り扱い上のご注意	34
ソフトウェアの FireWall 解除設定について (Windows)	34
Windows 環境の複数アカウントでのクライアント運用について	36
ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点	37

ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作	39
簡易操作インターフェイスの表示について	40
簡易操作インターフェイスの基本操作について	40
クライアントが使用するモジュールの管理	43
FAQ	47
付録	50
セットアップ状況確認のヒント	50
技術情報関連	51

---

# 1. Vectorworks 2019 ネットワーク版の概要

## 1-1. Vectorworks 2019 ネットワーク版の仕組みについて

Vectorworks® 2019 ネットワーク版をご購入いただき、誠にありがとうございます。

Vectorworks 2019 ネットワーク版は、サーバ/クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworks ソフトウェアを使用することができます。スタンドアロン版では各コンピューターごとに Vectorworks のライセンスを用意する必要がありますが、Vectorworks 2019 ネットワーク版ではサーバ用コンピューター上の Vectorworks Site Protection Server（以下、ライセンス管理ソフトウェア）が、同時に稼働するライセンス数を管理します。このため、使用するすべてのクライアント用コンピューターに Vectorworks 2019 ネットワーク版をインストールしておき、必要な時だけライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得して Vectorworks を起動することができます。

Vectorworks 2019 ネットワーク版では Vectorworks Fundamentals をベースに、デザインシリーズの各製品の機能を「モジュール」として提供しています。起動時にクライアント用コンピューター側でモジュールを選択して、必要な機能やツールが含まれている構成で Vectorworks ソフトウェアを使用できます。

なお、ライセンス管理ソフトウェアの母体は、米国 Reprise Software, Inc. 製のライセンス管理ソフトウェア、Reprise License Manager (RLM) を使用しています。ライセンス管理ソフトウェアの構成や概要について詳細な情報が必要な場合は、Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf を参照してください。

---

## 1-2. ライセンス管理ソフトウェアの機能

ライセンス管理ソフトウェアは以下の機能を持ち、個々の Vectorworks の起動やネットワーク全体での使用状況などを管理します。

- クライアントがライセンス管理ソフトウェアに接続した時に起動を承認
- ライセンスプール（ライセンス全体の管理）機能
- ライセンス利用状況の表示
- ログによるライセンス利用状況・クライアント接続状況の出力
- ライセンスの持ち出し機能
- ユーザ権限・ライセンス持ち出し可能モジュール・最大持ち出し日数などを管理

## 1-3. パッケージの内包物

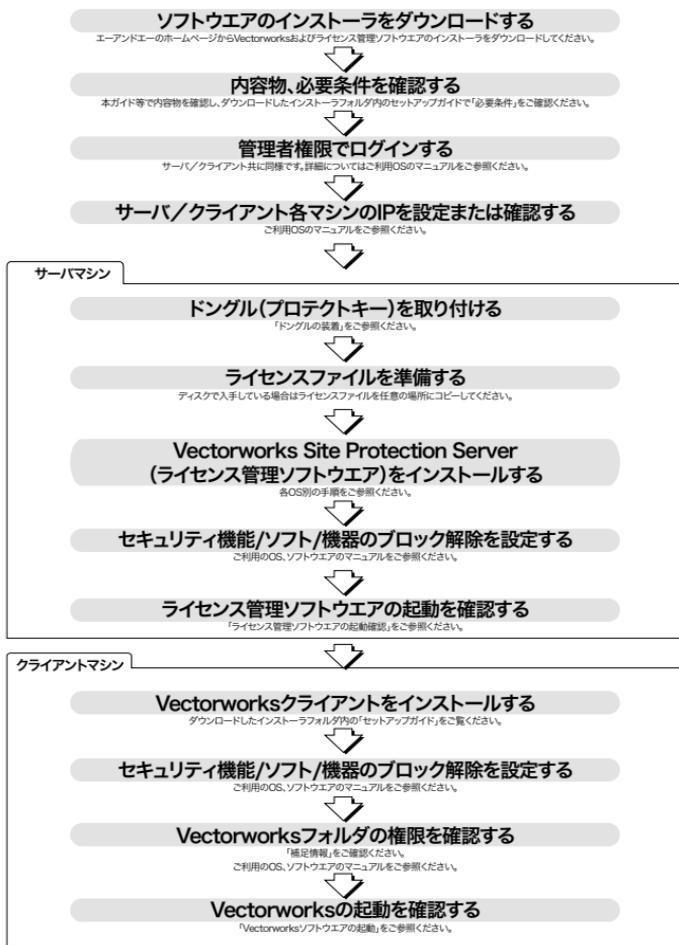
セットアップを始める前に、以下が入っている製品パッケージをお手元に準備してください。

- 簡単セットアップガイドおよび本セットアップガイド
- Vectorworks 2019 のシリアル番号（製品購入書）
- ライセンス管理ソフトウェアのライセンスファイル
- ライセンス管理ソフトウェアのプロテクション用 dongle

## 1-4. セットアップから起動までの流れ

サーバの運用方法には「アプリケーション」と「サービス（または Mac ではデーモン）」\*1 がありますが、特別な場合をのぞき、通常は「サービス（または Mac ではデーモン）」での運用が便利です。下図ではセットアップの流れを説明しています。

\*1 Windows のサービスや Mac のデーモンは、それぞれの OS が提供する機能です。  
この機能により、コンピューターの起動時にライセンス管理ソフトウェアが自動的に起動します。



## 1-5. セットアップの前に

Vectorworks 2019 ネットワーク版をセットアップする前に、ライセンス管理ソフトウェアや Vectorworks ソフトウェアのインストーラをダウンロードする必要があります。また、ここではセットアップに、最低限必要なコンピューターやネットワーク関連の用語をかいつまんで記載します。

用語の解説は概略ですので、一部イメージしやすく要約等をした記載です。

詳しく（もしくは正確に）は各 OS のマニュアルや関連資料等をご確認ください。

### 1-5-1. インストーラのダウンロード

ダウンロードページ「<http://www.aanda.co.jp/dl/2019/>」へアクセスし、ライセンス管理ソフトウェアおよび Vectorworks 2019 のインストーラをダウンロードしてください。



- 導入するコンピューターの OS にあわせてライセンス管理ソフトウェアまたは Vectorworks 2019 のインストーラを適宜ダウンロードしてください。
- 複数台のコンピューターに Vectorworks 2019 をインストールする場合は、ダウンロードしたインストーラを USB メモリなどにコピーしてご利用ください。
- Windows 環境でご利用の場合は、標準機能となる展開コマンドを使用して解凍してください。圧縮ファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することで、ZIP ファイルを解凍できます。



#### ダウンロードページが開かない場合

検索エンジンにて「エアアンドエー」などで検索し、「A&A エアアンドエー株式会社」Web ページ (<http://www.aanda.co.jp>) を開いてください。

ページ上部「サービス & サポート」から「ユーザ登録手続き」を開き、「Vectorworks 2019 ご利用の手順ページへ」ボタンを押してください。

## 1-5-2. IP アドレス

IP アドレスは、ネットワーク上で使用するコンピューターの認識番号です。言い換えれば、ネットワーク上で使用するコンピューターの住所のようなものと言えます。ネットワーク上のコンピューターには、必ず固有の番号が割り当てられています。環境にもよりますが、通常は 0 から 255 までの数値をドット (.) 区切りの 4 ブロックで指定されています。例： 192.168.3.52

**\* Vectorworks 2019 (クライアント) でライセンスの「持ち出し」を行う場合、サーバ用コンピューターの IP アドレスは固定してください。IP アドレスを自動割り当てにした場合、持ち出したライセンスが返却できなくなるなどの問題が発生する恐れがあります。**

使用中のコンピューターの IP アドレスは、次の方法で確認できます：

### ・ Windows

1. Windows ボタン (Windows 7) または、Windows ボタン +X キー (Windows 8 以降) を押し、「コントロールパネル」を選択します。
2. 検索ボックスに「アダプター」と入力し、「ネットワークと共有センター」の「ネットワーク接続の表示」をクリックします。
3. アクティブなネットワーク接続をクリックして、ツールバーで「この接続の状況を表示する」をクリックし、ダイアログボックス内の「詳細」ボタンをクリックします。
4. コンピューターの IP アドレスが、値列の「IPv4 IP アドレス」の横に表示されます。

### ・ Mac

1. アップルメニュー (アップルマーク) > 「システム環境設定」を開きます。
2. 一覧から「ネットワーク」をクリックします。
3. アクティブなネットワーク接続を選択し、「詳細」もしくは「設定」ボタンを押します。
4. 「TCP/IP」タブを選択し、「IP(v4) アドレス：」に表示されている数字の文字列 (XXX.XXX.XXX.XXX) が IP アドレスとなります。

---

### 1-5-3. ポート番号

ポート番号は、IP アドレスの下に設けられるサブ的な認識番号です。

例えばコンピューターが住宅だとすると、IP アドレスはその住所、ポート番号は窓のようなものをイメージしてください。

通常、一軒の住宅には複数の窓がありますが、同じように1つのIP アドレスに対してもポート（通信を行うための「窓」）が複数存在します。

コンピューターは外部と同時に複数の通信を行います。一般的に通信を行うプログラム（またはタスク）ごとに固有のポートを使用します。

ポート番号は16ビットの整数で、0番～65535番まであります。

### 1-5-4. FireWall（ファイアウォール）

ファイアウォールは、外部からコンピューターへの不正侵入を防ぐシステムです。

OSが標準的に装備しているものや、セキュリティソフトが搭載しているもの、HUBやルータが搭載しているものなど、環境によりさまざまなものがあります。

## 2. ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ

### 2-1. 必要条件

本製品のご利用にあたり、サーバ/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワーク環境が必要です。ご利用環境として、まず、以下の条件が必要となります。

- 1台以上のサーバ用コンピューターと1台以上のクライアント用コンピューターが必要です。
- インストール、および運用時は管理者 (Administrator) 権限のあるユーザーアカウントが必要です。
- ウィルス対策およびセキュリティ系ソフトウェアが動作している場合には、すべてを停止した状態でインストールを行ってください。

#### 2-1-1. ライセンス管理ソフトウェアの動作環境

Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア) の推奨動作環境は以下の通りです：(2018年8月30日現在)

OS

Windows :

Windows 10 (32bit/64bit)、Windows 8/8.1 (32bit/64bit)、Windows 7 (32bit/64bit)  
Windows Server 2012 R2 (64bit)、Windows Server 2012 (64bit)  
Windows Server 2008 R2 (64bit)、Windows Server 2008 (32bit/64bit)

Mac :

macOS 10.13 (High Sierra)、macOS 10.12 (Sierra)、Mac OS X 10.11 (El Capitan)  
Mac OS X 10.10 (Yosemite)、Mac OS X 10.9 (Mavericks)  
Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)、Mac OS X 10.7.5 (Lion) 以上  
Mac OS X 10.11 Server (El Capitan Server)、  
Mac OS X 10.10 Server (Yosemite Server)  
Mac OS X 10.9 Server (Mavericks Server)  
Mac OS X 10.8 Server (Mountain Lion Server)、Mac OS X 10.7 Server (Lion Server)

最新のOS対応状況については、Webサイト (<http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>) をご確認ください。

CPU

Intel Core2 Duo 以上

メモリ

256MB 以上

---

□その他

ハードディスク空容量：40MB 以上

100Mbps 以上の速度のネットワーク回線

TCP/IP プロトコル (必須)

サーバ/クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境

サーバ専用パソコンが必要

CD または DVD ドライブ (必須)

ドングル用 USB ポート (必須)

サーバアプリケーション管理のためのブラウザ (必須)

対応クライアントアプリケーション

- Vectorworks 2018 ~ 2019 ネットワーク版
- Vectorworks 2015 ~ 2017 サイトプロテクションネットワーク版
- Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズ G

\* サーバ管理画面は英語表記になります。

\* サーバとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。

\* ライセンス管理ソフトウェアと Vectorworks ソフトウェアの動作環境は異なります。

\* サーバ用コンピューターの IP アドレスは、原則的には固定してください。ただし、同じサブネット内であれば、サーバ用コンピューターの IP アドレスを固定しなくても IP アドレスの自動検知機能により接続できます。

\* Vectorworks 2019 (クライアント) でライセンスの「持ち出し」を行う場合、サーバ用コンピューターの IP アドレスは固定してください。IP アドレスを自動割り当てにした場合、持ち出したライセンスが返却できなくなるなどの問題が発生する恐れがあります。

\* 最新の情報は、以下の Web サイトでご確認ください。

<http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

□内包物：ライセンス管理ソフトウェアのインストーラフォルダには以下のファイルが含まれています。

サーバインストーラ .pkg (Mac) またはサーバインストーラ .exe (Windows) :  
ライセンス管理ソフトウェアをインストールします。

セットアップガイド .pdf : 本マニュアルです。

リファレンスガイド .pdf : ライセンス管理ソフトウェアの詳細な設定についての情報などが記載されているマニュアルです。

「ログファイルコンバータ」フォルダ：レポートログの管理に使用できる LogFileConverter が格納されています。

## 2-2. ライセンス管理ソフトウェアのインストール

サーバ用コンピューターに必要なライセンス管理ソフトウェアをインストールする前に、事前確認と dongle の装着をしておきます。

### 2-2-1. インストール前の準備

ライセンス管理ソフトウェアをインストールする前に以下をご確認ください。

- セットアップの前にインストーラをダウンロードしておいてください。
- セットアップに必要な情報が同梱されているパッケージを準備してください。
- コンピューターのシステム時計を正確に合わせてください。  
また、運用中もシステム時計が極力ずれないようにメンテナンスしてください。  
システム時計が大幅にずれると、ライセンスのカウントなどに支障が出ます。
- コンピューターを LAN に接続し、ネットワークに接続できるかご確認ください。
- IP アドレスを確認してください。  
Vectorworks クライアントの起動設定などで必要です。

確認方法は複数ありますが、方法が不明な場合は例として [7 ページの「1-5-2. IP アドレス」](#) をご覧ください。

### 2-2-2. Dongle の装着

Dongle 装着の際には取り付け口の形状などをよく確かめて、丁寧にお取り扱いください。製品には万全を期しておりますが、無理なお取扱いは Dongle 本体や装着先を破損させる恐れがあります。

1. サーバ用コンピューターに Dongle を装着します。コンピューター本体の USB ポートにしっかりと取り付けてください。緩みがあるとアプリケーションが正常に動作しませんのでご注意ください。
2. Windows 環境の場合、正常に装着されると USB 装置のインストールダイアログボックスが表示される場合があります（これは「新しいハードウェアが検出されました」など、OS が表示するダイアログボックスです）。指示に従って作業を進めてください。

## 2-2-3. Windows へのインストール

1. ドングルが装着されていることを確認してください。
2. ライセンスファイル (.lic ファイル) の場所を確認します。ディスクで入手している場合は、ファイルを任意の場所にコピーしてください。  
\* ファイル名は、LPF\_ ドングル ID の下 6 桁 + 拡張子 (.lic) です。
3. ダウンロードしたライセンス管理ソフトウェア用インストーラフォルダ内の「サーバインストーラ.exe」を起動します。
4. 「ようこそ」ダイアログボックスの後で、インストール先を確認するダイアログボックスが表示されます。適切な場所を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。
5. ライセンス管理ソフトウェアの起動方法の設定や Vectorworks ソフトウェアのシリアル番号を入力する環境設定の画面に切り替わります。ここに入力したシリアル番号は、環境が許す場合はクライアントのインストール時に表示されます。



### ライセンス管理ソフトウェアが使用するポートについて

- \* RLM ポート番号：Vectorworks クライアントと TCP/IP ポート (5053) で起動確認のための通信を行います。Vectorworks クライアントとサーバプログラムを特定のポート番号で接続したい場合は、ポート番号を入力します。
- \* ISV ポート番号：RLM サーバは、ISV サーバと UDP ポート (ランダム) で通信を行い、連携して動作します。任意のポートに固定したい場合は、ポート番号を入力します。
- \* ライセンス管理ソフトウェアは、この設定のほか、ライセンス管理ソフトウェアを管理するために、ブラウザと TCP/IP ポート (5054) で通信を行い、情報を表示します。

必要な場合はライセンス管理ソフトウェアが使用するポート番号を設定します。

- \* 通常はポート番号の変更を行う必要はありませんが、ネットワーク管理上、必要な場合はここで設定することができます。
- \* ポート番号の変更を行った場合は、クライアントのセットアップやバージョンアップ時などに変更した情報が必要となります。変更した番号をかならず控えておいてください。

「ISVの遅延起動」の設定は、ISV サーバの起動時間を、指定した秒数だけ遅らせます。サーバシステムがドングルドライバの特定に時間がかかる場合は、ここで時間を延長できません。

「シリアル番号自動取得機能を有効にする」にチェックを入れて Vectorworks 用のシリアル番号をこのタイミングで設定すると、クライアントをセットアップする際にインストーラがここに入力したシリアル番号を使用します。

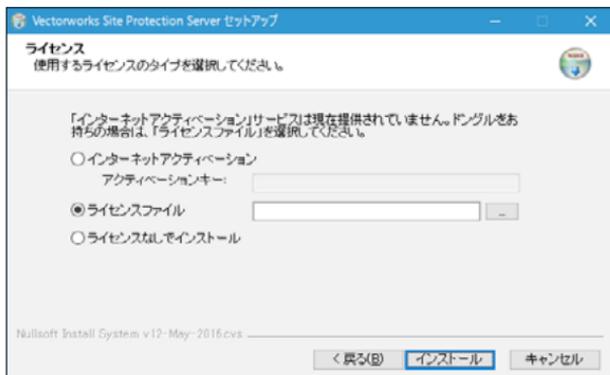
#### Vectorworks のシリアル番号について

シリアル番号は、製品内の製品購入書に記載されています。

- シリアル番号は全 24 桁です。  
例：GEXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

「アプリケーションを Windows ファイアウォールの例外リストに追加する」と「Windows 起動時に（サービスとして）自動で起動する」にチェックを入れたまま、「次へ」ボタンをクリックしてください。

6. ダイアログボックスがライセンス管理ソフトウェアのライセンスタイプを設定する画面に切り替わります。  
「ライセンスファイル」を選択し、ボックス右側のボタンをクリックして、任意の場所にコピーしておいたライセンスファイルを選択します。



ファイルを選択後「インストール」ボタンをクリックしてください。

7. 正常にインストール作業が終了すると、インストール完了を示すダイアログボックスが表示されます。「ライセンス管理ソフトウェアを起動する」にチェックを入れたまま、「完了」ボタンをクリックしてください。  
インストール作業が終了したら、ドングルのランプが赤く点灯していることを確認してください。
8. 必要に応じ、セキュリティソフトやOSのファイアウォールの設定を確認してください。設定により通信が妨げられている場合、ライセンス管理ソフトウェアやクライアントのVectorworksの正常な動作に支障が出る可能性があります。

インストールが終了すると、「Vectorworks Site Protection Server」フォルダが生成され、ライセンス管理ソフトウェアがバックグラウンドで起動します。

インストールされる主なファイルは以下の通りです：

**\* 動作に必要なファイルが複数インストールされますが、削除などしないでください。**

ライセンス管理ソフトウェアファイル一覧 (Windows)	
Config.txt	Vectorworks シリアル番号保存用ファイル
hasp_windows_40101.dll	ドングル関連ファイル
hasp_windows_60342.dll	ドングル関連ファイル
LogFileConverter.exe	ログファイルユーティリティ
rlm.exe	RLM ライセンスマネージャプログラム

ライセンス管理ソフトウェアファイル一覧 (Windows)	
rlmanon.exe	RLM ログファイルの変更プログラム (使用しません)
rlmutil.exe	RLM ユーティリティプログラム (使用しません)
uninstall.exe	アンインストールバッチ
v2c	ドングル関連ファイル
vektorwrx.dlog	ISV サーバソフトウェア関連書類
vektorwrx.exe	ISV サーバソフトウェア
Vectorworks Site Protection.exe	タスクトレイに表示される Site Protection Server の簡易操作インターフェイス
Strings.vwstrings	Vectorworks Site Protection.exe で使用するデータ

**\* Log File Converter は仕様変更によりインストール場所が変わる場合があります。インストーラフォルダに同じものが収録されていますので、ご利用ください。**

ライセンス管理ソフトウェアの本体はダイアログボックスなどのインターフェイスを搭載しておらず、本格的な操作は Web ブラウザで行います。

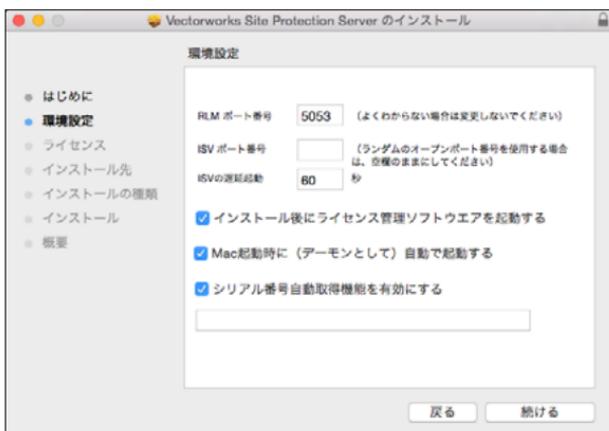
簡易的な操作は、タスクトレイから「Vectorworks Site Protection.exe」を介して行うことができます。

起動や動作の確認はこのあとの説明に従って行います。

詳しくは [20 ページの「2-3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認」](#)をご覧ください。

## 2-2-4. Mac へのインストール

1. ドングルが装着されているのを確認してください。
2. ライセンスファイル (.lic ファイル) の場所を確認します。ディスクで入手している場合は、ファイルを任意の場所にコピーしてください。  
\* ファイル名は、LPF\_ ドングル ID の下 6 桁 + 拡張子 (.lic) です。
3. ダウンロードしたライセンス管理ソフトウェア用インストーラフォルダ内の「サーバーインストーラ.pkg」をダブルクリックし、インストール作業を開始します。
4. 「はじめに」ダイアログボックスの後で、ライセンス管理ソフトウェアの起動方法の設定や Vectorworks ソフトウェアのシリアル番号を入力する環境設定の画面に切り替わります。ここに入力したシリアル番号は、環境が許す場合はクライアントのインストール時に表示されます。



### ライセンス管理ソフトウェアが使用するポートについて

- \* RLM ポート番号：Vectorworks クライアントと TCP/IP ポート (5053) で起動確認のための通信を行います。Vectorworks クライアントとサーバープログラムを特定のポート番号で接続したい場合は、ポート番号を入力します。
- \* ISV ポート番号：RLM サーバは、ISV サーバと UDP ポート (ランダム) で通信を行い、連携して動作します。任意のポートに固定したい場合は、ポート番号を入力します。
- \* ライセンス管理ソフトウェアは、この設定のほか、ライセンス管理ソフトウェアを管理するために、ブラウザと TCP/IP ポート (5054) で通信を行い、情報を表示します。

必要な場合はライセンス管理ソフトウェアが使用するポート番号を設定します。

- \* 通常はポート番号の変更を行う必要はありませんが、ネットワーク管理上、必要な場合はここで設定することができます。
- \* ポート番号の変更を行った場合は、クライアントのセットアップやバージョンアップ時などに変更した情報が必要となります。変更した番号をかならず控えておいてください。

「ISVの遅延起動」の設定は、ISV サーバの起動時間を、指定した秒数だけ遅らせます。サーバシステムがドングルドライバの特定に時間がかかる場合は、ここで時間を延長できません。

「シリアル番号自動取得機能を有効にする」にチェックを入れて Vectorworks 用のシリアル番号をこのタイミングで設定すると、クライアントをセットアップする際にインストーラがここに入力したシリアル番号を使用します。

### Vectorworks のシリアル番号について

シリアル番号は、製品内の製品購入書に記載されています。

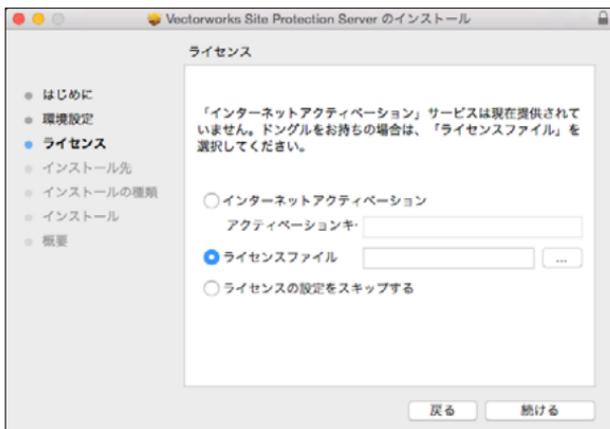
- シリアル番号は全 24 桁です。  
例：GEXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

「インストール後にライセンス管理ソフトウェアを起動する」と「Mac 起動時に（デーモンとして）自動で起動する」にチェックを入れたまま、「続ける」ボタンをクリックしてください。

Mac のデーモンは OS が提供する機能です。

この機能を利用することで、ライセンス管理ソフトウェアが自動的に起動します。

- ダイアログボックスがライセンス管理ソフトウェアのライセンスタイプを設定する画面に切り変わります。  
「ライセンスファイル」を選択し、ボックス右側のボタンをクリックして、任意の場所にコピーしておいたライセンスファイルを選択します。



- ファイルを選択後「続ける」ボタンをクリックしてください。
- インストール先を確認してインストールを続けます。正常にインストール作業が終了すると、インストール完了を示すダイアログボックスが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックし、インストール作業を終了します。  
dongleのランプが赤く点灯していることを確認してください。
  - 必要に応じ、セキュリティソフトやOSのファイアウォールの設定を確認してください。設定により通信が妨げられている場合、ライセンス管理ソフトウェアやクライアントのVectorworksの正常な動作に支障が出る可能性があります。

インストールが終了すると、デフォルトの設定ではアプリケーションフォルダにライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス用「Vectorworks Site Protection.app」がインストールされ、ライセンス管理ソフトウェアがバックグラウンドで起動します。ログファイルの変換に使用可能な「Log File Converter.app」は Vectorworks Site Protection.app > Contents > MacOS に同時にインストールされます。

\* **Log File Converter** を使用する場合は、**Vectorworks Site Protection .app** を選択してコンテキストメニュー (Ctrl + クリック) から「パッケージの内容を表示」を選択し、上記階層を表示することができます。

\* **Log File Converter** は仕様変更によりインストール場所が変わる場合があります。インストーラフォルダに同じものが収録されていますので、ご利用ください。

その他、インストールされる主なファイルは以下の通りです：

**\* 動作に必要なファイルが複数インストールされますが、削除などしないでください。**

/Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlm

ライセンス管理ソフトウェアファイル一覧 (Mac)	
hasp_darwin_40101.dylib	ドングル関連ファイル
hasp_darwin_60342.dylib	ドングル関連ファイル
rlm	RLM ライセンスマネージャプログラム
rlmanon	RLM ログファイルの変更プログラム (使用しません)
rlmtests	RLM 性能テストプログラム (使用しません)
Uninstall	アンインストールバッチ
v2c	ドングル関連ファイル
vektorwrx	ISV サーバソフトウェア

ライセンス管理ソフトウェアの本体はダイアログボックスなどのインターフェイスを搭載しておらず、本格的な操作は Web ブラウザで行います。

簡易的な操作は、メニューバーから「Vectorworks Site Protection.app」を介して行うことができます。

起動や動作の確認はこのあとの説明に従って行います。

## 2-3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認

ライセンス管理ソフトウェアの起動状況は通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）に表示されるライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス（以下、Vectorworks Site Protection アイコン）から確認するか、Web ブラウザでライセンス管理画面を表示して確認することができます。

<ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス>

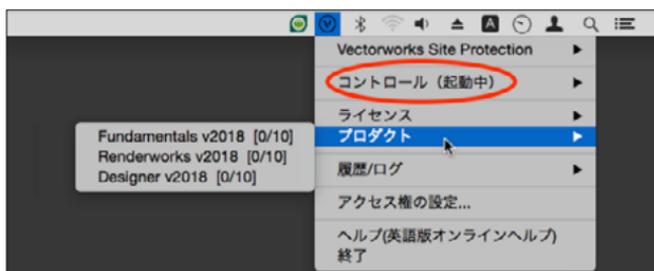


### 2-3-1. Vectorworks Site Protection アイコンで確認

Vectorworks Site Protection アイコンの表示の状態からライセンス管理ソフトウェアの起動状況を視覚的に確認することができます。

- 起動中の表示：
- 起動していない状態（アイコンに赤点が表示されます）：

Vectorworks Site Protection アイコンの上でマウスを Windows は右クリック、Mac はクリックしてメニューを表示すると、起動中であれば「コントロール（起動中）」と表示されます。



また、メニュー内のプロダクトにマウスを移動すると、ライセンス上有効な Vectorworks のモジュールの上限や起動中の本数が表示されます。

なんらかの理由でライセンス管理ソフトウェアが起動していない場合は、何も表示されません。

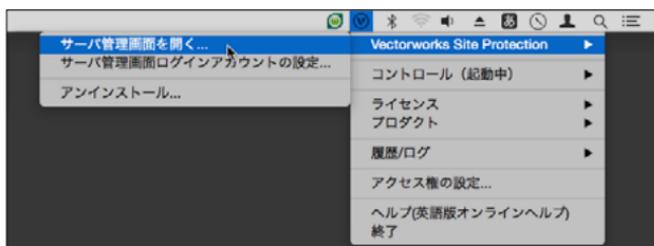
## 2-3-2. ライセンス管理画面の表示

ライセンスの詳細な各種管理を行うための管理画面 (Reprise License Server Administration) は Web ブラウザから表示します。ここでは管理画面の開き方を記載します。

この操作は、詳細な各種設定を行うための最初のステップです。

「Reprise License Server Administration」ウインドウ (以下、管理画面) を表示するには:

- 1 Vectorworks Site Protection アイコンのメニューで「サーバ管理画面を開く」を選択します。



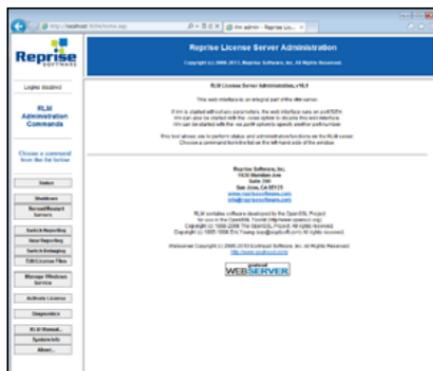
または、ライセンス管理ソフトウェアが起動しているコンピューターでブラウザウインドウを開き、アドレスに <http://localhost:5054> を入力し、確定します。

- \* サーバ機以外のコンピューターから管理画面を開くには、

<http://192.168.1.1:5054>

のように、ブラウザのアドレスにサーバ機の IP アドレスとポート番号を入力します。

- 2 管理画面が開きます。



ライセンス管理ソフトウェア管理画面の左ペインの各ボタンで、ライセンス管理ソフトウェアの各操作を行うことができます。

## 2-3-3. 稼働状況の確認

ライセンス管理ソフトウェアの稼働状況は以下の手順で確認することができます。

- 1 管理画面の左ペインで「Status」をクリックし、ステータス画面を表示します。
- 2 ステータス画面の Server Status 列にある「vektorwx」をクリックすると、現在のライセンス管理の状況が表示されます。



\* ボタンが表示されない場合は、セットアップに問題がある可能性があります。サーバ用コンピューターの再起動、ドングルの装着状況やセキュリティソフトや、OSのファイアウォールの設定を確認してください。

ここまでの操作で ISV サーバの状況を表示します。この画面は Vectorworks ネットワーク版のライセンス利用状況の確認などにも使用します。

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	hostid	timeout	share	transactions	Show License Usage
fundamentals	1	2016	permanent	6	6	2	0		0	None	34	usage...
architect	2	2016	permanent	1	1	1	0		0	None	5	usage...
landmark	3	2016	permanent	1	1	0	0		0	None	11	usage...
spotlight	4	2016	permanent	1	1	0	0		0	None	2	usage...
designer	5	2016	permanent	1	1	1	0		0	None	10	usage...
renderworks	6	2016	permanent	1	1	1	0		0	None	17	usage...
rlm_roam	7	1.0	permanent	Uncounted	0	0	0	ANY	0	None	24	usage...

さまざまな情報が表示されますが、「License pool status」で具体的な稼働状況が確認できます。導入中のライセンスと照らしあわせて、起動状況を確認してください。

① Product (プロダクト) :

製品名 (モジュール名) を表示します。

② Count (カウント) :

ライセンス管理ソフトウェアで使用可能な、各ライセンス数を表示します。

③ inuse (インユース) :

現在使用されているライセンス数を表示します。

この例では、Fundamentals で最大 6 本、Architect、Landmark、Spotlight、Designer、Renderworks を各 1 ライセンスずつ付加することができます。

現在、2 台のクライアントがライセンスを使用中で、残りのライセンスは

Fundamentals が最大 4 本、Landmark、Spotlight を各 1 ライセンス付加することが可能です。

- \* プロダクトやカウントの項目が表示されない場合、 dongle に対応したライセンスファイルを使用していない可能性があります、
- \* モジュールやライセンスの追加購入しても情報が正しく表示されていない場合は、最新のライセンスファイルを使用していない可能性があります。
- \* 正しいライセンスファイルがインストールされているかを確認してください。

ライセンス管理ソフトウェアはライセンス管理を行うためにさまざまな機能を搭載しています。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf をご覧ください。

---

## 3. Vectorworks 2019 のセットアップ

Vectorworks ソフトウェアのセットアップや起動、必要条件など動作に関する詳細な情報などの重要な情報については、お客様がダウンロードした製品フォルダ内のセットアップガイドに記載されています。

動作環境などは、Vectorworks ソフトウェアをご利用いただくに非常に重要な情報です。

セットアップガイドを必ずご覧いただき、インストールを行ってください。

本ガイドでは、インストールと起動のフローを抜粋して記載します。

### 3-1. Vectorworks 2019 のインストール

#### 3-1-1. インストール前の準備

Vectorworks ソフトウェアをインストールする前に以下をご確認ください。

- コンピューターのシステム時計を正確に合わせてください。  
また、運用中もシステム時計が極力ずれないようにメンテナンスしてください。  
システム時計が大幅にずれると、ライセンスのカウントなどに支障が出ます。
- コンピューターを LAN に接続し、ネットワークに接続できるかご確認ください。
- コンピューターの言語で「日本語」を選択してください。
- プリンタードライバをインストールしてください。
- ユーザーアカウント名に 1 バイト（半角英数字）が使用されていることをご確認ください。2 バイト（日本語文字）の場合は、1 バイトへ変更してください。
- グラフィックスドライバを最新バージョンへアップデートしてください。  
(Windows)
- Vectorworks のインストールや導入環境などについて、詳しくはダウンロードしたインストーラフォルダを解凍し、同梱のセットアップガイドをご覧ください。

---

## 3-1-2. モジュールを追加した場合のインストール

モジュール追加サービス製品 (Architect、Landmark、Spotlight、Designer モジュール) をご購入された場合は、Vectorworks の再インストールを行う必要はありません。ライセンス管理ソフトウェア側でライセンスファイルの更新が必要です。

注意事項についての詳細は [37 ページの「5-5. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点」](#) をご覧ください。

- \* モジュールを追加した場合、追加したモジュールのライブラリファイルを利用することができます。リソースマネージャまたはヘルプメニューの「オプションライブラリ (ダウンロード)」を選択して任意のライブラリファイルをダウンロードしてご利用ください。

## 3-1-3. シリアル番号の準備

ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に Vectorworks のシリアル番号を登録していない、またはインストール環境によりライセンス管理ソフトウェアの情報を利用できない場合は、Vectorworks 2019 のセットアップ中にシリアル番号の入力が必要です。

適切なシリアル番号をご用意の上、インストール作業を行ってください。

シリアル番号は、製品内の製品購入書に記載されています。

## 3-1-4. シリアル番号について

- シリアル番号は全 24 桁です。  
例：GEXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字 (1 バイト文字) の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O (オー) と I (アイ) は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」(ハイフン) が必要です。

---

## 3-1-5. Vectorworks ソフトウェアのインストール手順

以下が、Vectorworks ソフトウェアをインストールするための具体的な手順です。

Vectorworks のインストールや導入環境などについて、詳しくはダウンロードしたインストーラフォルダを解凍し、同梱のセットアップガイドをご覧ください。

1. ダウンロードした Vectorworks インストーラフォルダを解凍し、開いてください。
2. フォルダ内の「VW2019 インストーラ」をダブルクリックします。
3. インストールダイアログボックスが表示されます。「続行」をクリックします。
4. 登録情報（シリアル番号、名前、組織名）を入力し、「次へ」をクリックします。

シリアル番号が表示されていない場合は、[25 ページの「3-1-3. シリアル番号の準備」](#)と [25 ページの「3-1-4. シリアル番号について」](#)をご確認の上、入力してください。

5. Vectorworks 使用許諾契約をよくお読み頂き、同意できる場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。
6. 「お読みください」の記載内容を確認し、「次へ」をクリックします。
7. インストール先のディレクトリを選択し、「スタート」をクリックすると、インストールが開始されます。

「ログデータを収集 / 送信して、Vectorworks のユーザエクスペリエンスと機能の向上に協力します。」にチェックを入れると、Vectorworks のクラッシュ時に詳細情報と詳細な使用パターンがインターネットを通じて送信されます。

「今回は協力しません。ログデータの収集 / 送信はしません。」にチェックを入れると、エラー報告は送信されません。

どちらの場合も図面データやユーザの個人情報が転送されることはありません。いずれも環境設定から設定を変更することができます。

Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。

ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。

8. インストールが終了すると、オプションダイアログボックスが表示されます。任意のオプションを選択してください。「終了」ボタンをクリックするとインストーラが終了します。

「Vectorworks の起動」にチェックを入れると、Vectorworks が自動的に起動します。

## 3-2. Vectorworks 2019 の起動

Vectorworks 2019 のクライアントソフトウェアを起動すると、サーバソフトウェアと通信を行います。このため、起動にはサーバ用コンピューターとのネットワーク接続が必要です。

**\* ソフトウェアのライセンスを「持ち出し」している場合、期間内はネットワークに接続する必要はありません。**

### 3-2-1. Vectorworks の起動

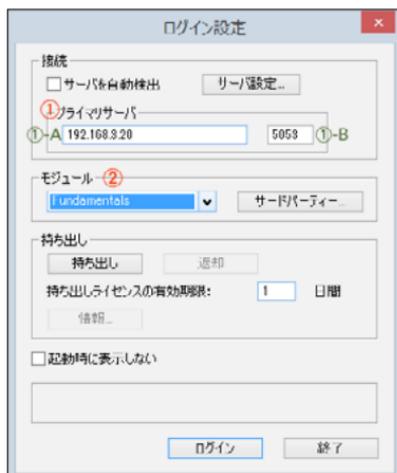
1. Vectorworks ソフトウェアを起動します。  
インストール時にインストール先を変更しなかった場合は、以下の階層にインストールされています。

Windows : 起動ディスク > 「Program Files」フォルダ > VW2019\_Net

Mac : 起動ディスク > 「アプリケーション」フォルダ > VW2019\_Net

#### ・起動手順

- 1-1. Vectorworks 2019 アイコンをダブルクリックしてください。
- 1-2. Vectorworks ソフトウェアが起動します。
- 1-3. ログイン設定ダイアログボックスが開きます。



2. ログイン設定を行います。

#### ① : プライマリサーバ

「サーバを自動検出」の設定をオフにし、ライセンス管理ソフトウェアを起動しているサーバ用コンピューターの情報を入力します。

① -A : サーバ用コンピューターの IP アドレスを入力します。 例 : 192.168.3.20

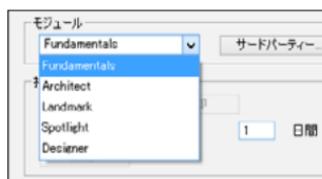
- 
- ①-B：サーバ用コンピューターのポート番号を入力します。  
デフォルトは 5053 です。  
ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に変更している場合は、  
セットアップ時に控えておいた変更後の番号を入力してください。

- \* 設定により、一時的にネットワークから切り離された環境で使用することもできますが、「持ち出し」機能を使用するには、サーバ用コンピューターの IP アドレスが固定されている必要があります。
- \* ログイン設定ダイアログボックスの各種設定の詳細について、詳しくは **Vectorworks ヘルプ**または**リファレンスガイド .pdf** をご覧ください。

②：モジュール設定

使用するモジュールの選択を行います。

モジュールをクリックすると、モジュールポップアップメニューが表示されます。



必要なモジュールを選択します。

- \* 利用できるのはライセンスをお持ちの製品のみです。ライセンスをお持ちでない製品は利用できません。
- \* クライアントで使用できる作業画面は、使用するモジュールによって異なります。初回起動時に警告が出る場合がありますが、そのまま起動してください。

モジュール	利用できる作業画面
Fundamentals	Fundamentals
Architect	Fundamentals、Architect、 Architect-BIM
Landmark	Fundamentals、Landmark
Spotlight	Fundamentals、Spotlight
Designer	Designer を含むすべて

3. **ログイン**をクリックします。Vectorworks ソフトウェアが正常にサーバ用コンピューターと通信し、ライセンス管理ソフトウェアが起動を許可すると、Vectorworks ソフトウェアが起動します。

## 3-2-2. アップデータ有無の確認

以下の手順でアップデータの有無を確認してください。

アップデータが存在する場合、必ず Vectorworks 2019 のアップデートを行ってください。

**\* アップデータのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

Windows : 「ヘルプ」メニュー> 「アップデータを確認」

Mac : 「Vectorworks」メニュー> 「アップデータを確認」

アップデータの適用方法に関して、詳しくは Vectorworks ヘルプの「Vectorworks 製品を更新する」をご参照ください。

## 3-2-3. 移行マネージャについて

Vectorworks ソフトウェアを初めて起動した時、移行マネージャが起動します。

移行マネージャは旧バージョンの作業環境を引き継ぐことができる機能です。

ユーザのコンピュータにインストールされている過去の Vectorworks を検索し、旧作業環境（バージョン）の「作業画面」、「テンプレートファイル」、「ライブラリファイル」、「リソースファイル」、「環境設定」を Vectorworks 2019 へ移行します。

移行手順などの詳細については、ダウンロードしたインストーラフォルダを解凍し、同梱のセットアップガイドをご覧ください。

移行マネージャは、初回起動時のみではなく、ツールメニュー> 移行マネージャ から任意のタイミングで実行することもできます。

詳しくは Vectorworks ヘルプの「Vectorworks 移行マネージャ」をご参照ください。

## 3-2-4. オンラインリソースライブラリの更新

ライブラリファイルはオンラインリソースライブラリから入手することができます。（インターネット接続環境が必要です。）

**\* ライブラリの情報更新やファイルダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

初回起動時、及び最新版のオンラインリソースライブラリが存在する場合、ダイアログボックスが表示されます。

更新を行う場合は「ダウンロードして更新」をクリックしてください。

---

### 3-2-5. ライブラリファイルの追加インストール

オプションライブラリファイルは、リソースマネージャで必要なリソースを確認しながら追加（ダウンロード）することができます。

もしくは、Vectorworks 2019 のヘルプメニューの「オプションライブラリ (ダウンロード)」を選択すると、Vectorworks Package Manager を使用して任意のライブラリをダウンロードすることもできます。

任意のライブラリのインストールボタンを押すとライブラリファイルが Vectorworks フォルダ > Libraries フォルダに自動的にインストールされます。

Vectorworks Package Manager を使用した場合は、ダウンロード終了後にメニューから Vectorworks Package Manager を終了してください。

- \* **ライセンスをお持ちでない製品のライブラリファイルを選択すると、ライブラリファイルはインストールされますが利用できません。適切な製品のライブラリファイルを選択してインストールしてください。**
- \* **ライブラリのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

## 4. アンインストールについて

Vectorworks 2019 ネットワーク版をアンインストールする必要がある場合は、以下の方法で行うことができます。

Vectorworks 2019 ネットワーク版は、以下のものから構成されています。

- Vectorworks ソフトウェア (クライアント)
- その他のファイル
- ライセンス管理ソフトウェア

これらのアンインストール手順について説明します。

- \* **ライセンス管理ソフトウェアをアンインストールした後は必ずコンピュータを再起動してください。コンピュータ再起動後のログインは「管理者権限 (Administrator)」で行ってください。**

### 4-1. Vectorworks ソフトウェアとその他のファイル

Vectorworks 2019 をインストールすると、Vectorworks 関連のファイル/フォルダと、Windows 環境では dll がインストールされます。

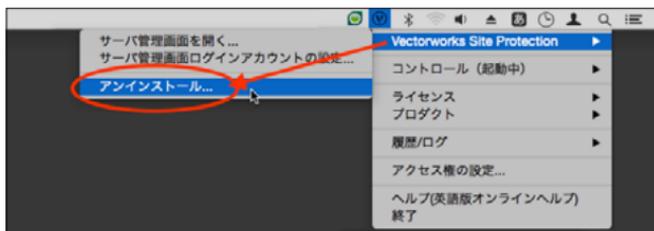
アンインストールについての情報は、ダウンロードしたインストーラフォルダを解凍し、同梱のセットアップガイドをご覧ください。

- \* **dll は他のソフトウェアが使用している場合があり、削除するとそれらのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。Vectorworks 以外で使用していないことが確実でない限り、削除しないことをお勧めします。**

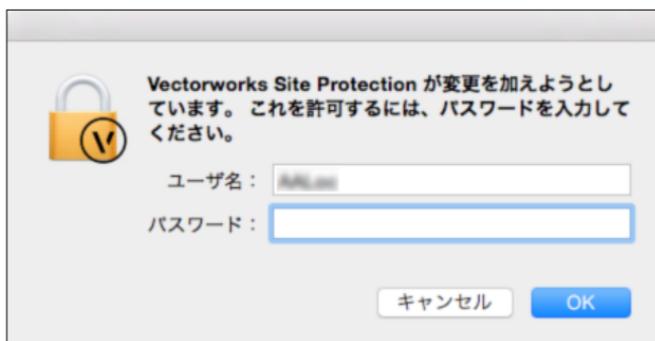
### 4-2. ライセンス管理ソフトウェア

ライセンス管理ソフトウェアのアンインストールは、通知領域またはタスクトレイ (Windows) や、メニューバー (Mac) に表示されるライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス (以下、Vectorworks Site Protection アイコン) から行います。

1. Vectorworks Site Protection アイコンのメニューから「アンインストール」を実行してください。



- 
2. Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。  
ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。



3. Vectorworks Site Protection のアンインストールダイアログボックスが表示されます。  
「ライセンスファイル、ログファイル、設定ファイルも削除する」を選択してアンインストールを実行してください。



- \* 現在、インターネット経由でライセンス管理ソフトウェアのアクティベーションを行うサービスは提供されていません。  
「インターネットアクティベーションライセンスを解除」のチェックボックスのオン/オフは、現在はアンインストールには影響しません。

---

## 5. 補足情報

### 5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について

Vectorworks フォルダのアクセス権が正しくないと正常に利用できないことがあります。Vectorworks ソフトウェアをインストールした後に、OS 上でフォルダやファイルのアクセス権を制限すると、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作しなくなることがあります。OS で利用できるアプリケーションを制限している場合にも Vectorworks ソフトウェアが起動しないことがあります。

#### 5-1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点

- インストールの前に、インストール先フォルダ（アプリケーションフォルダなど）のアクセス権が「読み書き可能」になっていることを確認してください。
- インストール後、Vectorworks フォルダとその中に含まれるファイルおよびフォルダのアクセス権は変更しないでください。（「読み書き可能」となっているはずですので、そのままにしてください）
- マルチユーザーの OS では、あるユーザーアカウントでインストールを行うと、別のユーザーアカウントでログインした場合に Vectorworks が利用できなくなることがあります。Vectorworks フォルダが、Vectorworks を利用するすべてのユーザーアカウントで「読み書き可能」となっていることを確認してください。

以上は、Vectorworks ソフトウェアが動作中に、各種設定などを Vectorworks フォルダ内（その下位のフォルダも含む）に保存するためであり、正しく保存されない場合は、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作・起動しないことがあります。

#### 5-1-2. アプリケーションのアクセス権に関する注意点

- Mac OS X では、ユーザーアカウントごとに、利用できるアプリケーションを制限できます。もし Vectorworks が起動できない場合は、この設定もご確認ください。
- ユーザーアカウントの設定方法や、フォルダ・ファイルのアクセス権の設定方法などは、お使いの OS のマニュアル等をご覧ください。

---

## 5-2. ドングル (ハードウェアプロテクトキー) お取り扱い上のご注意

### 5-2-1. 他メーカー製のドングルとの混在

他のメーカーのドングルに関しても定期的に試験を行ない、他メーカーのドングルとの混在環境でも問題なく動作することを確認しています。ただし、安定した動作のために、弊社製品のドングルを優先順位の高いUSB ポートに接続してください。USB ポートの優先順位は機種によって異なります。ご使用のコンピューターのマニュアルを参照してください。

### 5-2-2. USB ポート接続ドングルについて

USB ポートに接続すると、正常な場合はドングルのLED (ドングル本体のランプ) が点灯します。お使いの機種や環境によっては、USB ポート自体が利用できないよう設定されている場合がありますので注意してください。その場合はLED が点灯しません。

## 5-3. ソフトウェアの FireWall 解除設定について (Windows)

Vectorworks 2019 ネットワーク版を使用する場合は、FireWall のブロックを解除するよう設定してください。解除設定はOSによって異なりますので、詳しい設定は各OSのマニュアルをご参照ください。

ライセンス管理ソフトウェアはインストール時にこの設定を省くオプションが用意されていますので、ご活用ください。

### Windows 7、8/8.1 および 10 32/64bit

#### 【プログラム】

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「アクセスを許可する」ボタンをクリックします。

#### 【サービス】

1. コントロールパネル > Windows ファイアウォール > Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可します。
2. 「別のプログラムの許可」ボタンをクリック > 参照ボタンで、rlm.exe および vektorwrx.exe (Vectorworks Site Protection Server フォルダ内) を指定して OK ボタンをクリックします。

---

## Windows Server 2008 32/64bit

### 【プログラム】

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「ブロックを解除する」ボタンをクリックします。

### 【サービス】

1. コントロールパネル > Windows ファイアウォール > Windows ファイアウォールによるプログラムの許可 > 例外タブ > ポートの追加を選択します。
2. 名前：適当な名前をつける（例：RLM Service など）  
ポート番号：5053 プロトコル：TCP と設定して OK ボタンをクリックします。

## Windows Server 2008 R2 および 2012 64bit

### 【プログラム】

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「プライベートネットワーク」「パブリックネットワーク」にチェックを入れ、「アクセスを許可する」ボタンをクリックします。

### 【サービス】

1. コントロールパネル > システムとセキュリティ > ファイアウォールの状態の確認 > Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可します。
2. 「別のプログラムの許可」ボタンをクリック > 参照ボタンで、rlm.exe および vektorwrx.exe (Vectorworks Site Protection Server フォルダ内) を指定して OK ボタンをクリックします。

## 5-4. Windows 環境の複数アカウントでのクライアント運用について

Windows 環境で、Vectorworks クライアントを同一コンピューター上において、複数のユーザーアカウントで利用される場合には、ユーザーアカウントごとに初回起動時のシリアル番号の入力が必要になります。

ユーザーアカウントごとのシリアル番号の入力を省略して利用されたい場合は、以下の点にご注意いただき、セットアップを行ってください。

1. Vectorworks クライアントをインストールする際は、必ず管理者アカウントにて行ってください。
2. 管理者アカウントでインストール後、インストールした「VW2019\_Net」プログラムフォルダを開きます。
3. フォルダ内の「Vectorworks2019.exe」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
4. プロパティダイアログボックス内の「互換性」タブから「管理者としてこのプログラムを実行する」オプションにチェックを入れてください。



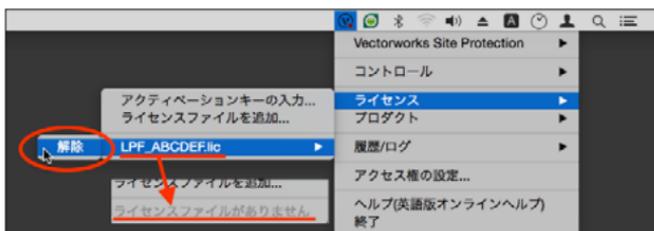
5. 任意のユーザーアカウントに切り替えて、Vectorworks の起動をご確認ください。

## 5-5. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点

ライセンスやモジュールの追加や変更をするには、ライセンス管理ソフトウェアのライセンスファイルを入れ替える必要があります。

ライセンスファイルだけを入れ替える場合は、以下の手順に従ってライセンスファイルを更新することができます。

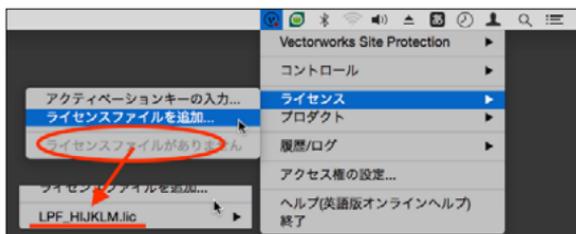
1. Vectorworks クライアントが「持ち出し」しているライセンスをすべて返却してください。
  - \* ライセンスを持ち出したままライセンスファイルの更新を行うとライセンスを返却できなくなります。必ず返却してください。
  - \* ライセンスの持ち出し状況は、サーバプログラム上で確認できます（「License Pool Status (ライセンスプールのステータス)」）。
2. Vectorworks クライアントをすべて終了してください。
3. ライセンス管理ソフトウェアでポート番号の変更を行っている場合は、その内容を控えておいてください。
4. Vectorworks Site Protection アイコンのメニューのライセンスから、使用中のライセンスファイルの「解除」を実行してください。



ライセンスファイルが削除され、「ライセンスファイルがありません」と表示されるようになります。

5. 新たなライセンスファイルを指定します。  
Vectorworks Site Protection アイコンのメニューのライセンスから、「ライセンスファイルを追加」を実行してください。

6. ファイル選択ダイアログボックスが開きます。  
新たなライセンスファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



ライセンスファイルが追加され、追加した新たなライセンスファイルが表示されるようになります。

7. ポート番号の変更が必要な場合はインストール時に控えた内容をもとに再設定をしてください。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「ポート番号を変更する」をご覧ください。
8. モジュールの追加をした場合は、必要に応じ Vectorworks クライアントからオプションライブラリをダウンロードしてご利用いただけます。

\* クライアント用コンピューターを増設した場合の Vectorworks クライアントソフトウェアのインストールについては、[24 ページの「3. Vectorworks 2019 のセットアップ」](#)をご参照ください。

\* バージョンアップ時にはライセンス管理ソフトウェアの機能アップや障害修正を行っているケースが多いため、通常再インストール作業を伴います。旧バージョンのライセンス管理ソフトウェアをアンインストール後に、新しいライセンス管理ソフトウェアをインストールしなおしてご利用ください。

## 6. ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作

ライセンス管理ソフトウェアは、Web ブラウザを使用して英語表記の管理画面を表示することですべての機能を使用することができますが、サーバとしての一般的な確認や操作は簡易操作インターフェイスから簡単に確認、ご利用いただけます。

ライセンス管理ソフトウェアをインストールすると、起動状況の確認やライセンスファイルの管理などが操作可能な簡易操作インターフェイスもインストールされます。これまでの解説ですでに記載してきましたが、ここでは簡易操作インターフェイスの機能をまとめて説明します。

また、ライセンス管理ソフトウェア側で Vectorworks クライアントのモジュール管理が容易になったため、抜粋して解説します。

なお、Vectorworks 2019 ネットワーク版で使用するライセンス管理ソフトウェアのプロテクトは、現在ドングルプロテクトでの提供となります。

インストーラや簡易操作インターフェイスに表示されるネットワーク経由でのアクティベートによるプロテクトのサービスは提供されていませんので、あらかじめご了承ください。



管理者がサーバ用コンピューターを容易に操作可能な環境で、ライセンスの利用状況の簡易的な把握や、シンプルにライセンス管理ソフトウェアの起動状況などを確認したい場合は、簡易操作インターフェイスからの操作をお勧めします。

サーバ用コンピューターがサーバーールームなどに設置されており、容易にアクセスできないケースや、個別にライセンスの持ち出しを制御するなどの細かいライセンス管理が必要な場合は、ライセンス管理画面から操作してください。

## 6-1. 簡易操作インターフェイスの表示について

ライセンス管理ソフトウェアをインストールすると、簡易操作インターフェイス（以下、Vectorworks Site Protection アイコン）が、通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）に表示されます。

＜ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス＞



アイコンの表示の状態ではライセンス管理ソフトウェアの起動状況を視覚的に確認することができます。

-  : 起動中の表示
-  : 起動していない状態（アイコンに赤点が表示されます）

## 6-2. 簡易操作インターフェイスの基本操作について

Vectorworks Site Protection アイコンの上でマウスを Windows は右クリック、Mac はクリックすると、簡易操作インターフェイスのメニューが表示されます。

表示されるメニューは以下の通りです：

メニューコマンド	説明
Vectorworks Site Protection	サーバ管理画面の表示やログイン、アンインストールなどに関わるメニューコマンドです。
サーバ管理画面を開く	サーバ管理画面の Web ブラウザインターフェイス（英語表記）を起動します。 Windows ユーザは、アイコンをダブルクリックすることで、直接開くこともできます。

メニューコマンド	説明
サーバ管理画面ログインアカウントの設定	<p>サーバ管理画面のログインアカウントを設定するためのメニューコマンドです。</p> <p>サーバ管理画面ログインアカウントの設定ダイアログボックスが開きます。Web インターフェイスにログインするログイン名を入力します。</p> <p>既存のログイン名がある場合は上書きします。</p> <p>デフォルトで空のパスワードが作成されます。パスワードについての詳細は、Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「サーバのパスワードを設定する」を参照してください。</p> <p>Web ブラウザインターフェイスが開きます。それまでアクセスしたことがなければ、場合によりインターフェイスの画面左側から再度ログインする必要があります。</p>
アンインストール	ライセンス管理ソフトウェアをアンインストールします。
コントロール	ISV サーバをコントロールします。
スタート	ライセンス管理ソフトウェアがアクティブの場合は、コントロールメニューに「起動中」と表示されます。
リスタート	停止しているサーバを開始します。
ストップ	すべての設定とライセンスファイルを再度読み込んで、サーバを再起動します。RLM サーバ全体を再起動するわけではありません。
ライセンス	サーバを停止します。再起動するには、スタートをクリックします。
ライセンス管理ソフトウェアのライセンス	ライセンス管理ソフトウェアのライセンスについての操作をします。
アクティベーションキーの入力	<p>ライセンス管理ソフトウェアを dongle ではなくアクティベーションキーで有効にしている場合は、発行されたアクティベーションキーを入力してライセンスを有効にします。</p> <p><b>* 本ソフトウェアでは使用できません。</b></p>
ライセンスファイルを追加	ライセンスファイル (.lic ファイル) を選択して指定します。
ライセンスファイル名	現在のすべてのライセンスファイルの名前が表示されます。
	必要に応じて、任意のライセンスを無効にできます。

メニューコマンド	説明
解除	<p>ライセンスファイルを削除します。</p> <p>ライセンス管理ソフトウェアをドングルではなくアクティベーションキーで有効にしている場合は、以前にアクティベートしたライセンスを無効にして、サーバソフトウェアを別のコンピュータで実行できるようにします。</p> <p><b>* ライセンスを無効にすると、ライセンスサーバが再起動され、現在接続されているユーザとの接続が切断されます。</b></p>
プロダクト	<p>使用可能な（Vectorworks クライアントの）製品ライセンスが一覧表示され、製品ごとに現在使用中のライセンス数が表示されます。</p>
履歴／ログ	<p>デバッグやレポートログについての詳細は、Vectorworks ヘルプをご覧ください。</p>
使用履歴を表示	<p>使用履歴ダイアログボックスが開き、製品別の使用統計がグラフ表示されます。</p> <p>プロダクトリストで製品を選択すると、その期間の使用履歴が表示されます。Xをクリックしてダイアログボックスを閉じます。</p>
デバッグログを表示	<p>サーバの起動で起こるすべてのイベントや、サーバおよび環境に関するその他の情報であるデバッグログが開きます。</p>
レポートログを表示	<p>クライアントのアクセス状況など、サーバの統計情報であるレポートログが開きます。</p>
アクセス権の設定	<p>アクセス権の設定ダイアログボックスが開き、アクセス権限を設定することができます。</p>
ヘルプ	<p>英語版のヘルプシステムが開きます。</p>
終了	<p>簡易操作インターフェイスを終了します。</p> <p>終了すると、通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）のアイコン表示が無くなります。</p> <p><b>* ライセンス管理ソフトウェアはユーザが停止しない限り実行され続けます。</b></p>

## 6-3. クライアントが使用するモジュールの管理

簡易操作インターフェイスから Vectorworks 2019 クライアントの起動についての管理を行うことができます。

サーバ管理画面ではすべてのライセンス管理機能を操作できますが、クライアントのモジュール管理などは構文を入力して制御を行います。

簡易操作インターフェイスの「アクセス権の設定」メニューコマンドを実行すると、クライアントの起動管理に特化して簡単に制御することができます。

例えば、Aさんは造園計画まで行うので Designer の使用を予約しておいたり、Bさんは建物の設計がメインなので Architect の使用を許可したりと、ライセンス管理ソフトウェア側でクライアントが使用するモジュールを設定しておくことができます。

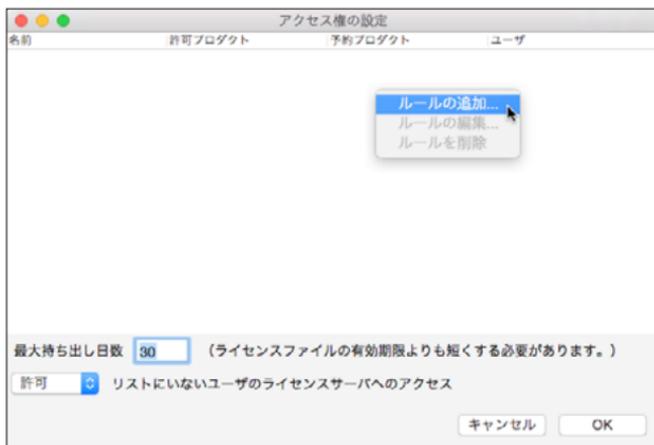
どのユーザがどの製品の利用の許可や予約してあるかをまとめたものをルールと呼びます。

アクセス権限のルールを作成するには、以下の方法で行います：

1. Vectorworks Site Protection アイコンのメニューで「アクセス権の設定」を実行します。

アクセス権の設定ダイアログボックスが表示されます。

2. ダイアログボックス上で右クリック (Windows) または Ctrl - クリック (Mac) して表示されるコンテキストメニューから、「ルールの追加」を選択します。





クライアントの持ち出しを許可する場合、期間は**最大持ち出し日数**の設定で30日以下に短縮して制限することができます。

ライセンスの持ち出しを禁止するには、日数を0（ゼロ）に設定してください。



**リストにいないユーザのライセンスサーバへのアクセスの許可／拒否**で、この後で説明するルールの基本動作を制御します。

デフォルトでは許可が選択されており、すべてのユーザにライセンスへのアクセスが許可されています。ルールの作成時には、例外のルールを設定するようにします。

拒否を選択すると状況が逆になり、ルールでアクセスが付与されない限り、すべてのユーザがライセンスへのアクセスを拒否されます。

ライセンス数や運用の状況に応じ、使い分けてください。

3. ルールの追加 / 編集ダイアログボックスが表示されます。

ルール名

タイプ  (ユーザの定義方法を選択してください)

ユーザ

Vectorworksの最大インスタンス  / ユーザ

許可プロダクト

Fundamentals  Designer  Architect  Landmark  Spotlight

予約プロダクト

Fundamentals  Designer  Architect  Landmark  Spotlight

ルールの追加 / 編集ダイアログボックスで以下を設定してルールを作成します：

項目名	説明
ルール名	ルールに名前を付けます。 ここに入力した名前が、アクセス権の設定ダイアログボックスのリストに表示されます。
タイプ	ルールのユーザを定義する方法を、ユーザ名、コンピューター名、IP アドレスから選択します。  ユーザ名やコンピューター名はクライアント側で変更される可能性があるため、IP アドレスを推奨します。 また、メンテナンスを含め管理をシンプルにするためには、クライアントのコンピューターは DHCP などのフローティングアドレスではなく、IP アドレスを固定しての運用をお勧めします。
ユーザ	サーバの使用履歴で取得したユーザ名またはコンピューター名のリストを表示します。最後に使用したユーザがリストの 1 行目に表示されます。 <b>*IP アドレスはログから取得できないため、表示されません。</b>  リストでユーザ名またはコンピューター名を選択するか、ユーザ名、コンピューター名、または IP アドレスを入力して追加をクリックし、リストに追加します。 <b>* 名前にスペースは使用できません。</b>
Vectorworks の最大インスタンス数	ユーザ 1 人につき実行できる Vectorworks のインスタンス数を設定します。 <b>* 通常、この値は 1 です。</b>
許可プロダクト	リスト内のユーザに起動を許可するモジュールを指定します。 「すべて」または「なし」ボタンで一括で操作することができます。
予約プロダクト	リストのユーザに対して、ライセンスのプールからモジュールを予約します。それら特定のユーザのみが、予約されている製品ライセンスへのアクセスを付与されます。 このタイプのルールに複数のユーザが含まれる場合は、予約されているライセンスを共有します。 「すべて」または「なし」ボタンで一括で操作することができます。

- 
4. 設定を完了したら、OK ボタンをクリックして各ダイアログボックスを閉じてください。
  5. ルールを編集 / 削除したい場合は、ステップ 2 のコンテキストメニューで行うことができます。



アクセス権の設定ダイアログボックスで設定した、**リストにいないユーザのライセンスサーバへのアクセスの許可 / 拒否の設定**に注意してルールを作成してください。

許可を選択すると、すべてのユーザにライセンスへのアクセスが許可されます。例えば小規模の事務所で *Designer* を社員の人数分、アルバイトなどのヘルパー用に *Fundamentals* を数本導入した場合、ヘルパー用の端末は *Fundamentals* だけを許可するルールを作成すると、社員が使用する *Designer* のライセンスを保護することになります。

拒否を選択すると状況が逆になり、ルールでアクセスを付与しない限り、すべてのユーザがライセンスへのアクセスを拒否されます。

この場合、管理者がすべてのライセンスの利用者を計画的に設定する必要があります。

ライセンス数によっては設定が大変ですが、ライセンスの利用状況をしっかり把握・管理したいケースに向いています。

ライセンス数や運用の状況に応じ、使い分けてください。

---

## 7. FAQ

ご質問の多い項目を Q&A 形式でご紹介します。お問い合わせいただく前にご確認ください。

### ライセンス管理ソフトウェア

#### Q. エラーが表示されます。

A. Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「エラーメッセージ一覧」にエラー表示の情報が記載されています。問題の原因を確認し、対処法をお試しください。

#### Q. ライセンス管理プログラムを遠隔管理できますか？

A. インストールはローカル環境で行う必要がありますが、管理画面の表示や操作は別のコンピュータからでも行うことができます。Web ブラウザのアドレスに、  
`http:// サーバ用コンピュータの IP アドレス : ポート番号`  
を入力すると、表示できます。

#### Q. Vectorworks 2019 ネットワーク版のライセンス管理プログラムで使用しているドングルの種類は？

A. シングルライセンスの Sentinel HASP HL USB ドングル (HASP HL) を使用します。

#### Q. ライセンス持ち出しの制限をカスタマイズできますか？

A. ISV サーバのオプションで設定可能です。持ち出し可能日をデフォルトの 30 日以下に抑えたい場合は「ROAM\_MAX\_DAYS」を、特定ユーザにのみ持ち出しを許可したい場合は「INCLUDEALL\_ROAM」を、特定ユーザが持ち出せないようにさせたい場合は「EXCLUDEALL\_ROAM」を設定する事ができます。例えば大多数のユーザに持ち出させたくないケースでは「INCLUDEALL\_ROAM」で制限するなど、用途にあわせて設定してください。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「サーバオプションを指定する」をご覧ください。

#### Q. ライセンス管理ソフトウェア (ISV サーバ) がライセンスファイルを読み込む時間を変更できますか？

A. できません。深夜 0 時に再読み込みされます。

#### Q. 管理画面にパスワードを設定できますか？

A. 設定することが可能です。Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「サーバのパスワードを設定する」をご覧ください。

---

## Vectorworks ソフトウェア

### Q. 「インストールに失敗しました」と表示されます。

- A. OS のユーザーアカウント名が 2 バイト文字（日本語）となっている場合に発生することがあります。1 バイト文字（半角英数）のアカウントを新規作成し、そのアカウントでログインし直した状態でインストールをお試しください。

### Q. インストールが止まる／インストーラが強制終了する。

- A. 1. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが、インストールやアップデートを阻害することがあります。
2. コンピューターに管理者権限でログインした状態で、インストールをお試しください。また、フォルダやアプリケーションのアクセス権をご確認ください。アクセス権については、本ガイド内の [33 ページの「5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について」](#) をご参照 ください。

### Q. 追加モジュール（Architect, Landmark, Spotlight, Designer モジュール）を追加購入したが使用できません。

- A. 1. ライセンス管理ソフトウェア側で追加モジュールが利用可能なライセンスファイルを使用してください。
2. クライアント側のモジュール設定を確認してください。

### Q. Vectorworks を起動できない／Vectorworks の動作が不安定（頻繁に強制終了する／極端に動作が遅い）

- A. 1. ご利用のコンピューターが Vectorworks が必要とする動作環境を満たしているかご確認ください。
2. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが 動作を阻害することがあります。
3. [33 ページの「5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について」](#) をご参照ください。
4. Windows: グラフィックスドライバを更新してください。

### Q. Vectorworks をアンインストールしたい。

- A. [31 ページの「4. アンインストールについて」](#) をご参照ください。

---

**Q. クライアントのシリアル番号を確認すると、ライセンス製品に「Designer/Renderworks」と表示されています。**

- A.** Vectorworks はインストール時に、Vectorworks Designer 製品の全機能をインストールしています。また、ネットワーク版のクライアントは起動時にモジュールを選択可能であるという製品の性質上、Vectorworks Designer のライセンスを使用して動作しています。このため、Vectorworks クライアントで（「環境設定」>「その他」タブ>「シリアル」ボタンをクリックして）シリアル番号を確認すると、ライセンス製品には Designer と Renderworks が表示されます。
- ただし、実際使用できる製品はライセンスをお持ちのものだけです。

**Q. クライアントの Vectorworks でライセンスの持ち出し機能が利用できません。**

- A.** ライセンス管理ソフトウェア側の ISV オプションで制限をかけている可能性があります。まず、ISV オプションの設定をご確認ください。

**Q. クライアントの Vectorworks が接続中のサーバについての情報が知りたい。**

- A.** Vectorworks クライアントで「環境設定」>「その他」タブ>「ログイン設定」ボタンをクリックして表示されるログイン設定ダイアログボックス内の「接続」ボタンをクリックすると、接続中のサーバの IP アドレスが表示されます。

**Q. 複数のサーバが動作している環境で、接続するサーバを指定できますか？**

- A.** Vectorworks クライアント起動時に表示されるログイン設定ダイアログボックス内の「サーバ設定」ボタンをクリックすると表示される、サーバ設定ダイアログボックスで、接続先の登録や優先度の調整が可能です。

## 8. 付録

### 8-1. セットアップ状況確認のヒント

セットアップ後のライセンス管理ソフトウェアや Vectorworks クライアントの起動に支障がある場合は、FAQ の確認に併せて以下のリストを確認してみましょう。

チェック	内容
	サーバのライセンス管理ソフトウェアは起動しているか。 確認方法： <a href="#">20 ページの「2-3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認」</a> 問題があればサーバ側の各種項目を確認。
	ライセンス管理ソフトウェアのフォルダに適切なライセンスファイルが入っているか。
	サーバ用コンピューターに装着した dongle のランプは点灯しているか。 また、サーバ用コンピューターを再起動するとどうか。
	ライセンスファイルと実際の dongle ID は合っているか。
	RLM デバッグログでコンピューター名、各ポート番号が合っているか。

①  
管理画面から  
Statusを表示

RLM software version	v11.3 (build:1)
RLM comm version	v1.2
debug log file	_stdout_
license files	

rim Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	10/28 17:15:09	10/28 17:15:10	10/28 17:15:10
Messages	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)
Connections	0 (0/sec)	0 (0/sec)	0 (0/sec)

②  
「rim Debug Log」をクリック  
デバッグログを表示する。

---

**Recent Debug Log Entries**

RLM Debug Log, last 20 lines

```
10/28 17:15 (rim)
10/28 17:15 (rim) WARNING: No license file for this host (C99354.local)
10/28 17:15 (rim) The hostname in the license file(s)
10/28 17:15 (rim) may be incorrect
10/28 17:15 (rim)
10/28 17:15 (rim) License files:
10/28 17:15 (rim)
10/28 17:15 (rim) RLM License Server Version 11.3&L1
Copyright (C) 2006-2015, Reprise Software, Inc. All rights reserved.
10/28 17:15 (rim) License server started on C99354.local
10/28 17:15 (rim) Server architecture: x86_64
10/28 17:15 (rim) License files:
10/28 17:15 (rim)
10/28 17:15 (rim) Web server starting on port 5054
10/28 17:15 (rim) Using TCP/IP port 5053
10/28 17:15 (rim) ... adding UDP/IP port 5053
10/28 17:15 (rim) (No ISV servers to start)
```

マシン名

ポート番号

チェック	内容
	ライセンス管理ソフトウェアの起動確認のステップで、必要な製品やライセンス数が表示されているか。
	セキュリティソフトや OS 標準のファイアウォールの設定に問題はないか。
	Vectorworks クライアントの起動時に、ログイン設定ダイアログボックスで入力したサーバ用コンピューターの IP アドレスに間違いがないか。
	他の Vectorworks クライアントが起動していない時に、クライアント用コンピューターの Vectorworks 起動時に購入した製品のモジュールが選択できるか。

## 8-2. 技術情報関連

Vectorworks ソフトウェアを快適にご使用いただくための情報や、出荷時点での既知の障害、仕様上の制限事項をご案内いたします。

最新の情報は、弊社 Web サイトにて、随時ご案内しています。

エーアンドエー Web サイト：<http://www.aanda.co.jp/Vectorworks/sysreq.html>

禁転載 / 不許複製

Vectorworks 2019 ネットワーク版 セットアップガイド  
2018年11月30日 初版

製作・発行  
エーアンドエー株式会社  
101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-15